

レクビオの治療を受ける患者さんご家族の方へ



はじめてガイド

LDL
コレステロール

目標値

薬物治療

監修：
帝京大学医学部
内科学講座・循環器内科
主任教授 上妻 謙 先生

Web版では
解説動画も
ご覧いただけます

あなたのLDLコレステロール管理目標値は

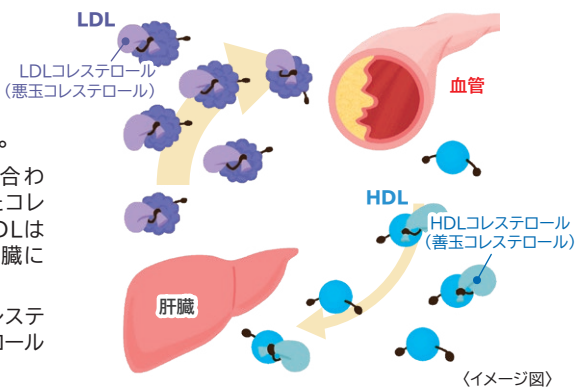
mg/dL未満



高コレステロール血症とは なんですか？

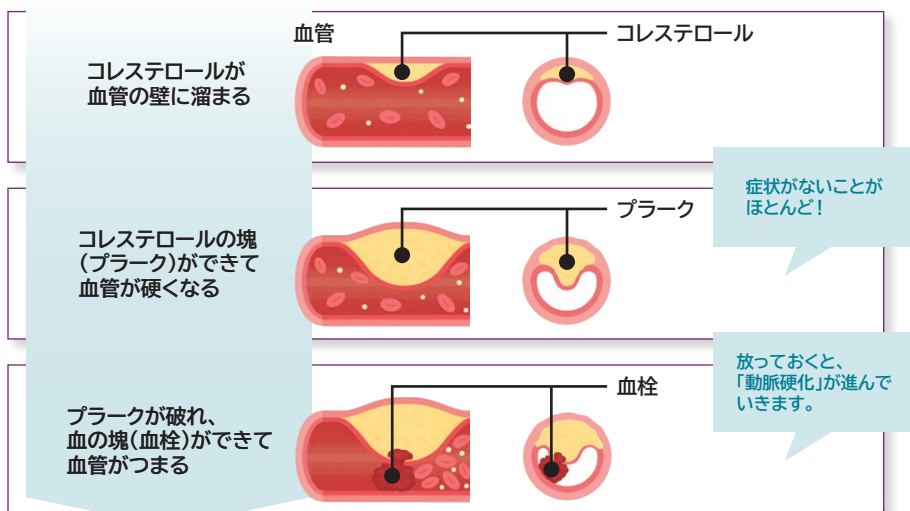
血液中のコレステロール(脂質)が増えすぎた状態のことをいいます。

- LDLやHDLは脂質とタンパク質が合わさったもので、LDLは肝臓で作られたコレステロールを「全身に運ぶ」役割を、HDLは血液中の余分なコレステロールを「肝臓に戻す」役割を担っています。
- このバランスが崩れ、血液中のLDLコレステロール量が多くなることを、「高コレステロール血症」といいます。



LDLコレステロール値が高い状態は、心筋梗塞の発症リスク を高め、脳梗塞を含む心血管疾患の再発につながります

〈イメージ図〉



脳心血管病(心筋梗塞、脳梗塞など)

LDLコレステロール値が高いと

心筋梗塞

(心臓の血管がつまる)

発症リスクが

3.8倍¹⁾



LDLコレステロール値が高い
などの場合、

脳梗塞を含む 心血管疾患

再発率は

17.7%^{※2)}



※脂質管理目標値未達(LDLコレステロール1.8mmol/L[約70mg/dL]以上など)の動脈硬化性心血管疾患患者を対象とした研究では、約3.4年間の再発率は17.7%でした(海外データ)²⁾。

1) Imano H, et al. Prev Med. 2011; 52(5): 381-386. 2) Mackinnon ES, et al. Cardiol Ther. 2024; 13(1): 205-220.

主治医と一緒に、LDLコレステロール管理目標値を確認してみましょう！

LDLコレステロール値が高くなると、動脈硬化になりやすくなり、心筋梗塞や脳梗塞になる危険性が高まることが知られています。

下記のような動脈硬化になりやすい要因がある方には、より厳格なLDLコレステロール管理がすすめられています^{3,4)}。

- 今までに**心筋梗塞**や**脳梗塞**にかかったことがある方
- **糖尿病**の方
- **家族性高コレステロール血症**の方 など



あなたのLDLコレステロール管理目標値は

mg/dL未満

管理目標値をめざして治療していきましょう！

3) 日本循環器学会. 2022年JCSガイドラインフォーカスアップデート版 安定冠動脈疾患の診断と治療. p30-31.
https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2022/03/JCS2022_Nakano.pdf, 2026年9月閲覧

4) 日本動脈硬化学会(編):動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版. 日本動脈硬化学会, 2022, p71.

高コレステロール血症の治療には どのようなものがあるのでしょうか？

まずは **生活習慣の改善**

LDLコレステロール値が
低下しない場合

生活習慣(食事・運動・禁煙)



生活習慣の改善 + **お薬**

薬物療法



生活習慣(食事・運動・禁煙)



注射の日だけが、治療の日ではありません

心血管疾患の発症予防のカギは、
毎日の数値を「低く保ち続ける」こと。

LDLコレステロール値
を低く安定させることが
大事なんだな...

LDLコレステロール値の
ばらつき※が大きいと、
心血管疾患の発症率
16%上昇⁵⁾



※「ばらつき」とは、LDLコレステロール値が採血ごとにどれくらい変動しているかを指します。
本研究では、変動が大きい上位25%を「ばらつきが大きい」としています(海外データ)⁵⁾。

5) Li S, et al. Nutrients. 2022; 14(12): 2450.

「レクビオ」と「普段の生活」が、あなたの健康を守ります。

次回のレクビオ投与期間も、治療は継続しています。
主治医と決めた管理目標値を維持するためには、患者さん自身の行動が不可欠です。



“生活習慣”と“お薬”の「2つ」が大切です。

食事



新たなコレステロールを
「溜めない」

運動・禁煙



血管を
「しなやかにする」

お薬



過剰な分を
「しっかり抑える」

高コレステロール血症治療薬レクビオの3つのポイント

Point

1

**LDLコレステロール管理目標値を
めざす治療**に用いるお薬です。

Point

2

**これまでの治療薬とは異なるはたらき
を持つ、世界100カ国以上で承認されている
お薬**です。

※2026年9月現在

Point

3

**初回、3ヵ月後、その後6ヵ月ごとに、
医師や看護師に皮下投与してもらう
注射剤**です。

レクビオの効能又は効果

家族性高コレステロール血症、高コレステロール血症 ただし、以下のいずれも満たす場合に限る。

・心血管イベントの発現リスクが高い ・HMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分、又はHMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さない

レクビオの用法及び用量

通常、成人にはインクリシランナトリウムとして1回300mgを初回、3ヵ月後に皮下投与し、以降6ヵ月に1回の間隔で皮下投与する。

レクビオはLDLコレステロールをどうやって下げるのですか？

LDLコレステロールが高い状態

血管



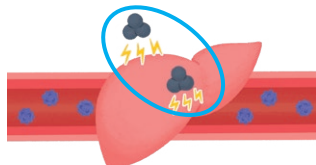
血液中のLDLコレステロールが増えすぎている状態です。

なぜ？

肝臓



通常、血液中のLDLコレステロールの約80%は肝臓で分解⁶⁾されますが…

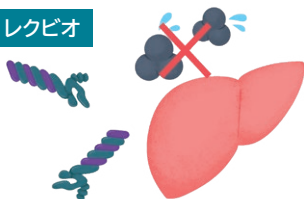


この分解を邪魔するタンパク質⁷⁾があります。

〈イメージ図〉

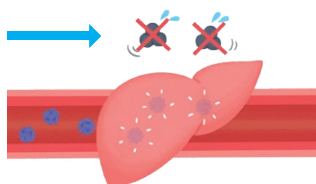
レクビオはこのようなにはたらきます

レクビオ



レクビオは、LDLコレステロールの分解を邪魔するタンパク質⁷⁾が作られないようにするお薬です。

どうなる？



肝臓でより多くのLDLコレステロールを分解できるようになり…



血液中のLDLコレステロールが減ります。

〈イメージ図〉

6) Turley SD, et al. J Lipid Res. 1995; 36(1): 67-79. 7) Abifadel M, et al. Nat Genet. 2003; 34(2): 154-156.

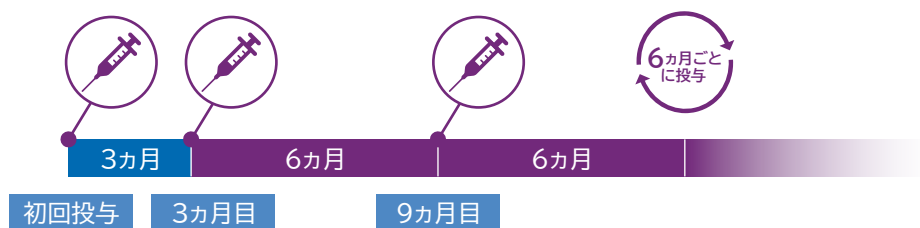
レクビオはどのように投与するのですか？

レクビオは、医療従事者に皮下投与してもらう注射剤で、初回、3ヵ月後、その後6ヵ月ごとに投与します。

医療従事者による投与(皮下注射)



初回、3ヵ月後、その後6ヵ月ごとに投与



レクビオの副作用や注意すべき症状はなんですか？

レクビオの主な副作用は、注射部位の反応(注射した場所が痛くなったり、赤くなったり、発疹ができたりするなどの症状)や肝機能障害でした。

注射部位反応



肝機能障害



注射部位
疼痛



注射部位
紅斑



注射部位
発疹



レクビオ®皮下注300mgシリンジ
電子添文 2023年11月改訂(第2版)

レクビオの用法及び用量

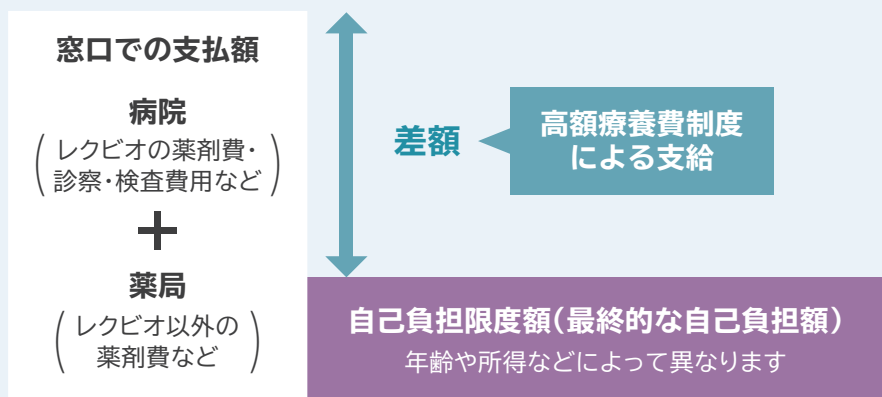
通常、成人にはインクリランナトリウムとして1回300mgを初回、3ヵ月後に皮下投与し、以降6ヵ月に1回の間隔で皮下投与する。

レクビオによる治療にはどのくらい費用がかかりますか？

レクビオによる治療で医療費が高額になった際に、
公的な支援を利用できる場合があります。

✓ 高額療養費制度

医療機関や薬局の窓口での支払額※が、ひと月（月初から月末まで）で上限額（自己負担限度額）を超えた場合に、その超えた金額の支払いが不要、もしくは払い戻される制度です。



※入院時の食費負担や差額ベッド代などは含みません。

✓ 付加給付制度

一部の健康保険組合では、高額療養費制度の自己負担分に加えて、さらに負担を軽減する制度があります。

✓ 医療費控除

1年間に支払った医療費が一定額を超えた場合、確定申告を行うことで医療費の額に応じた所得控除を受けることができる制度です。



レクビオの薬剤費を計算してみましょう



「レクビオの薬剤費シミュレーター」へアクセス

治療継続をサポートするためのツール 「レクビオサポーター」があります

離れている間の「安心」を、
あなたの手元へ。

次回投与日を
忘れないか
不安…



次の診察まで
ひとりで治療を
続けられるかな…

スマホから簡単登録



読み込む



入力する



完了!

レクビオ投与中の患者さまへ
次回投与日

2027年12月10日（金曜日）

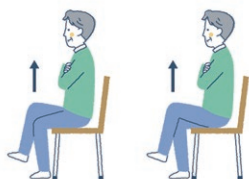
■レクビオサポーター

投与日・ご登録内容の確認、変更はこちらから
<https://lequio-supporter.jp/login>

ログイン

健康効果色々！おうちで気軽に
「レジスタンス運動」

◆ もも上げ（腓腰筋（腰回り）を鍛える）
①背もたれから背中を離して椅子に座る。
②お腹に力を入れて、片方のももをゆっくり上げる。
③太ももの裏が座面から離れるくらい上げて、ゆっくり下ろす。



主なサポート内容

🔔 投与日のお知らせ

投与日忘れを防ぎ、治療スケジュールの管理をメールにてサポートします。

📄 疾患情報の配信

高コレステロール血症治療の情報や健康に役立つ情報を定期的にお届け。疾患への理解を深め、継続的な治療をサポートします。

〈メールのイメージ〉

初回 新規登録の手順

① 登録情報の入力

登録に必要な情報を入力・選択し、「確認」ボタンを押してください。

POINT

- ・連絡先をご本人含め2か所に入力。
- ・次回投与日を入力することで、投与前日にお知らせメールが届きます！

② 入力内容の確認

入力内容をご確認ください。変更がある場合は「戻る」ボタンを押して修正してください。

③ 完了メールの受信

登録完了したら、ご登録いただいたメールアドレス宛にメールが届きますので、ご確認ください。

初回以降 レクビオを投与した日に、次の投与日登録を

大切

初回登録以降の次回投与日のお知らせを受け取るためには、患者さんご自身で投与予定日の登録が必要です。

① ログイン

※IDはメールアドレスです

お知らせメールのURLをクリックし、ID・パスワードを入力してください。

② 次回投与日を入力

次回投与日を入力してください。その他は、登録されている情報が表示されます。

③ 入力内容の確認

④ 完了メールの受信

次回投与日のお知らせ



※スマートフォン、PC共に登録方法は同じです。 ※画面は開発中のイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

登録確認メールが届かない場合は？



メールアドレスの入力間違い

メールアドレスをもう一度ご確認のうえ、再度ご登録をお願いいたします。



「迷惑メール」フォルダに振り分けられている

自動で「迷惑メール」に振り分けられている場合があります。「迷惑メール」フォルダの中身をご確認、もしくは「迷惑メール」設定の変更をお願いいたします。



メール受信拒否・許可設定をされている

「@leqvio-supporter.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。



受信メールボックスの容量がいっぱいになっている

メールボックスがいっぱいの場合、メールが届きません。不要なメールを削除し、「ゴミ箱」も空にするようお願いいたします。

上記をご確認のうえ、設定変更や再登録をお願いいたします。

【利用規約】この利用規約は、ノバルティス ファーマ株式会社(以下「ノバルティス」)が提供する“レクビオサポーター”と称する患者通院サポートプログラム(以下「本プログラム」)に参加される方の利用条件を定めることを目的とします。

以下の利用条件をお読みいただき、これらの条件に同意された場合のみ、本プログラムをご利用いただけます。

【当サイトの利用】本プログラムは、「レクビオ」による治療を行っている患者様、そのご家族様で本プログラムへの参加のご登録をされたご登録者を対象に治療の継続を支援するサービスを提供するものです。

当サイトへメールアドレスと次回投与日を登録することにより以下のサービスをご利用いただけます。

- ・ご登録者にはお知らせメールを配信いたします。
- ・ご登録者には疾患についてのお役立ち情報メールを配信いたします。
- ・ご登録者にはお知らせメールの配信を、ご利用者様専用のマイページより、いつでも停止することができます。

※インターネット通信料・接続料はご登録者の負担となります。

【登録資格】メールアドレスをお持ちの方 ・日本国内にお住まいの方 ・利用規約の全ての条件にご同意いただいた方

【登録方法】PCブラウザおよびスマートフォンからご登録いただけます。

【サービス提供の変更・中断・中止・終了】当サイトでのサービスの一部または全てを事前に告知することなく、変更・中断あるいは中止または終了する場合があります。

【免責事項】本プログラムの利用は、次回投与日の入力やインターネットへの接続を含め、ご登録者の責任において行われるものとします。本プログラムをご利用中に発生した直接・間接の損失・損害に対し、ノバルティスはいかなる責任も負いません。また、本プログラムの実施は、ご登録者の健康状態に直接的にも間接的にも影響を及ぼすことを目的とするものではなく、また医師が指示された治療を代替するものではありませんので、医師の指示に従った治療を行うことを前提にご利用ください。

【準拠法および管轄裁判所】本プログラムのご利用並びに本利用条件の解釈および適用は、他に別段の定めのない限り、日本法に準拠するものとします。また、本プログラムの利用に関わる全ての紛争については、他に別段の定めのない限り、東京地方裁判所を第一審専属管轄裁判所とします。

【本規約の変更】必要に応じてご登録者の承諾を得ることなく、本規約を改訂できるものとします。この場合、本プログラムの利用条件は、改訂後の本規約によります。

【付則】

本規約は、2024年2月1日から適用します。

治療に欠かせない、**2つ**のこと。
それは **レクビオ** と、あなた自身で **整える生活**

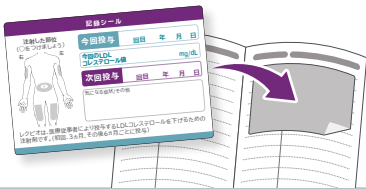
治療継続のための充実したサポート体制

高コレステロール血症の治療は、**症状がなくても**長期間継続することが大切です。
レクビオの投与間隔(3ヵ月、6ヵ月)の間も、**患者さん自身の生活習慣(食事・運動・禁煙)の改善が重要**となります。
そのために、日々の治療と生活を支える様々なサポートをご用意しています。

サポートツール

▶ **レクビオ投与日シール**

現在のLDLコレステロール値や次のレクビオ投与日などを記入できるシールです。
お薬手帳やカレンダーに貼ってご活用ください。



▶ **レクビオサポーター**

疾患情報や治療に効果的な運動・食事などの情報配信に加え、次回投与日のリマインドを行います。



登録はこちらから



初回	年 月 日	LDLコレステロール値 mg/dL
	次回投与予定日	年 月 日
2回目 (初回から3ヵ月後)	年 月 日	LDLコレステロール値 mg/dL
	次回投与予定日	年 月 日
3回目 (2回目から6ヵ月後)	年 月 日	LDLコレステロール値 mg/dL
	次回投与予定日	年 月 日

医療機関名・連絡先